

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	陽光ホーム	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人育桜福祉会 ・代表者名 生亀 洋子 ・住所 川崎市中原区西加瀬10番3号	評価者	障害計画課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	共同生活援助・共同生活介護（定員 16名）在籍者 16名 地域生活体験事業（定員 1日2名）延利用日数 82日					
収支実績	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 収入 経常活動 70,941,239円 自立支援費等 27,957,492円 利用料 8,058,806円 指定管理 26,775,000円 経常経費補助金 7,173,837円 その他 976,104円 合計 70,941,239円 </td> <td style="width: 50%;"> 支出 経常活動 65,501,710円 人件費 54,991,439円 事務費 3,238,725円 事業費 7,271,546円 財務活動 695,700円 合計 66,197,410円 </td> <td style="width: 10%; text-align: right;"> 収支差額 4,743,829円 ※指定管理料 26,775,000円 </td> </tr> </table>	収入 経常活動 70,941,239円 自立支援費等 27,957,492円 利用料 8,058,806円 指定管理 26,775,000円 経常経費補助金 7,173,837円 その他 976,104円 合計 70,941,239円	支出 経常活動 65,501,710円 人件費 54,991,439円 事務費 3,238,725円 事業費 7,271,546円 財務活動 695,700円 合計 66,197,410円	収支差額 4,743,829円 ※指定管理料 26,775,000円		
収入 経常活動 70,941,239円 自立支援費等 27,957,492円 利用料 8,058,806円 指定管理 26,775,000円 経常経費補助金 7,173,837円 その他 976,104円 合計 70,941,239円	支出 経常活動 65,501,710円 人件費 54,991,439円 事務費 3,238,725円 事業費 7,271,546円 財務活動 695,700円 合計 66,197,410円	収支差額 4,743,829円 ※指定管理料 26,775,000円				
サービス向上の取組	・地域の中で生活するために、必要な技術と能力を養えるような援助を行っている。 ・地域生活体験事業としては、地域移行を希望する利用者に対し、障害状況を把握しながら、実際の生活をイメージできるような支援を行っている。					

3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・個別のニーズに合わせ、近隣の障害者支援施設「めいぼう」などの関係機関と連携し、検討を行いながら運営を行っている。 ・利用者が自立した日常生活を営むことができるよう配慮し、地域や家庭との結びつきを重視しながらサービスを提供している。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) ・安定した給付費等により、経営状態は良好な状況となっている。 ・予算に沿った支出がなされており、執行状況及び財産状況について、適正に処理されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	3	3
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) ・自室での過ごし方について、ニーズ調査を行い、個々の希望や生活スタイルに合わせた支援を行っている。 ・交通ルールやマナーの習得等ができるよう、関係施設、家族、地域と連携を取りながら、利用者の状況を見ながら支援を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・安全で安心して暮らせる生活の場の提供ため、法人の危機対応委員会や地域と連携し、危険を未然に防ぐ体制をとって、防火・防災・防犯に取り組んでいる。 ・各種マニュアルが整備され、事故発生時には、マニュアルに沿った対応を行い、その後の再発防止にも努めている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・各種保守・点検等について、適切に実施されている。 ・適正な業務実施のため、物品などの在庫管理やスペースの確保等について改善を行っている。					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・日常のコミュニケーションや月1回の面談、ニーズ調査などの様々な手法で、個別の情報を確認しており、職員間で情報を共有化しながら支援を行っている。
- ・利用者のニーズに合わせた支援計画によって、良質なサービスを提供し、工夫した支援や業務改善等に取り組んでいる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・今後も安定した事業運営のため、障害者支援施設「めいぼう」等の関係施設と連携し、より良い利用者支援を実施すること。
- ・地域生活体験事業の周知のため、広報などの取り組みを行うこと。
- ・外部研修については、参加実績がないが、世話人がスキルアップできる外部研修など、積極的に参加して、支援の質の向上に繋げることを望む。